

京都府中小企業団体中央会が災害見舞いに来県

～心より感謝申し上げます～

京都府中小企業団体中央会（渡邊隆夫会長）は、東日本大震災において甚大な被害を受けた東北4県（青森県・岩手県・宮城県・福島県）と本県の中小企業団体中央会に災害見舞いのため訪問された。

同会では、被災地の中小企業者の復興支援のため、京都府内の中小企業団体等に義援金を募集し、とりまとめをされた。

5月10日、同会・渡邊会長、鞍掛孝専務理事が当会の幡谷祐一会長を訪問。同会及び同会正副会長からの災害見舞金を頂戴した。

渡邊会長は、「茨城県の被災状況は、余り報道されておらず、大変大きな被害を受けたことに驚いた。心よりお見舞い申し上げ、京都中央会として出来るだけ復興に協力したい」と挨拶。それに対し、幡谷会長は、「全国的に茨城は被災県として余り認知されない中、当県に災害見舞いにお越しいただき心より感謝申し上げます」と感謝の意を述べた。

また、5月13日、同会でとりまとめた義援金を茨城県庁に贈呈するため、同会・山口靖弘事務局次長が来県。当会・千葉実専務理事が同行のもと、県商工労働部長室において、横山仁一県商工労働部長に「茨城県内の中小企業復興のために役立てていただきたい」と義援金の目録を手渡した。

その後、千葉専務理事が山口次長を北茨城市などの被災地を案内。千葉専務理事は、「今回の京都府中央会のご厚意に対して心から感謝申し上げます。我々も皆様からのご支援を糧に中小企業及び中小企業団体の復興のため全力で支援していきたい。これを機会に当県と京都府の中小企業団体の交流が深められたら嬉しい」と述べた。山口次長も「実際に被災地を見て、話しを聞いて、マスコミでは報道されていない茨城県の被災状況を把握することができた。これらの情報を会員組合等に周知していきたい」との言葉をいただいた。

